

きゅうしゅう

NO.75



緊急脱出訓練場

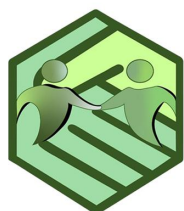
目次 CONTENTS

1. 部隊紹介 : 陸上自衛隊 相浦駐屯地
2. 自治体紹介 : 長崎県佐世保市
3. 業務紹介 : 九州防衛局 企画部 防音対策課
4. インフォメーション : もがみ型護衛艦9番艦「なとり」
10番艦「ながら」引渡式・自衛艦旗
授与式ほか

画像提供：陸上自衛隊相浦駐屯地



愛宕山と相浦駐屯地



防衛省と地域社会との協力を
象徴するエンブレム

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau
<https://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



1. 部隊紹介

陸上自衛隊 相浦駐屯地



水陸機動団長
兼ねて相浦駐屯地司令
陸将補 武者 利勝

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様、ご挨拶申し上げます。水陸機動団長兼ねて相浦駐屯司令の武者将補です。相浦駐屯地は、昭和16年旧海軍佐世保鎮守府第2海兵団の基地として開設され、時代の変遷を経て、昭和30年10月に陸上自衛隊相浦駐屯地として発足し、地域の皆様の協力もあり、今年で開設71周年を迎えることとなりました。

昭和から平成にかけて第3教育団、西部方面混成団、西部方面普通科連隊と多くの隊員が汗を流した尚武の地で、平成30年に水陸機動団が新編され今年で8年目を迎えました。

これもひとえに皆様の御理解・御支援の賜物と感謝しております。

我が国を取り巻く安全保障環境、国際情勢は非常に厳しいものとなっておりますが、我々水陸機動団及び相浦駐屯地諸隊は更なる能力向上のため、厳しい訓練を日々自らに課し抑止力・対処力をさらに高めて参るとともに、地域の皆様をはじめ国民の負託に応えることができるよう、安全管理を万全にしつつ日々精進することをお誓いします。引き続き、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

相浦駐屯地の沿革

安政4年(1857年)～慶応元年(1865年)：大湊地区新田干拓事業(約160年前)

昭和16年(1941年)：海軍佐世保鎮守府第2海兵団開団

昭和20年～30年：米軍駐留(キャンプ・モーア)

昭和30年10月：相浦駐屯地開設(第8新隊員教育隊が針尾から移駐)

昭和44年8月：第3教育団本部(別府から相浦へ移駐)

平成14年3月：西部方面普通科連隊新編

平成15年3月：第301普通科直接支援隊新編

平成25年3月：第3教育団廃止、西部方面混成団新編

平成27年3月：水陸機動準備隊新編

平成27年10月：相浦駐屯地開設60周年

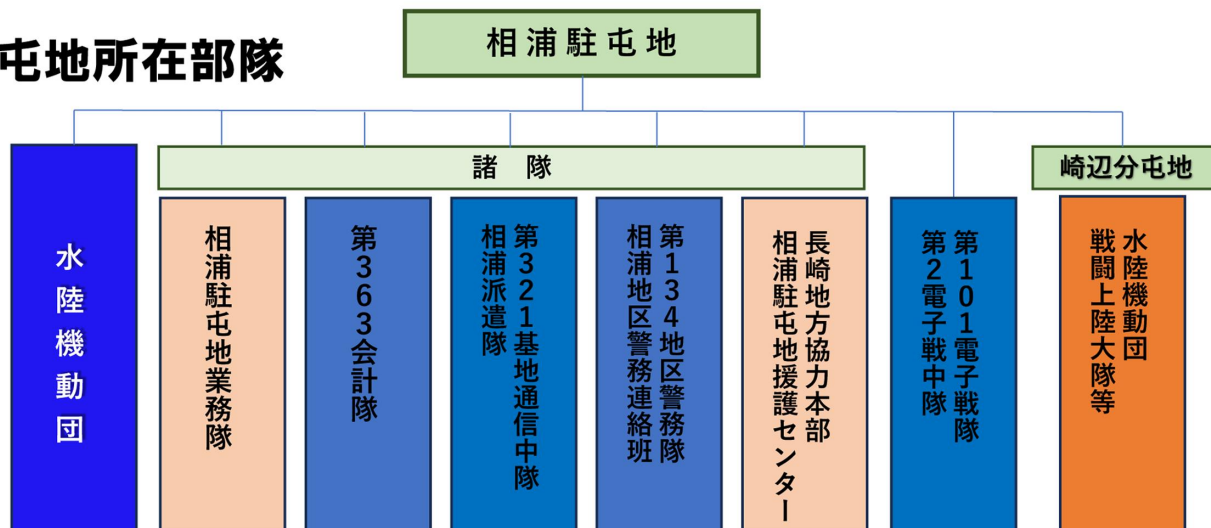
平成30年3月：水陸機動団新編 ※西部方面混成団は久留米へ移駐

平成31年3月：崎辺分屯地開設

令和6年3月：第3水陸機動連隊新編(竹松)及び水陸機動団増強改編



駐屯地所在部隊



水陸機動団の紹介

水陸機動団は、陸上自衛隊で本格的な水陸両用作戦能力を保有する唯一無二の部隊です。

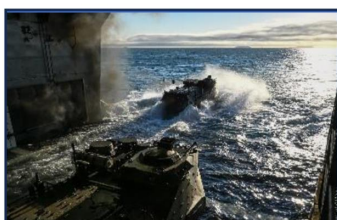
水陸機動団の設立により、島しょ防衛に関する能力向上が図られ、抑止・対処の実効性が向上しました。

海上自衛隊・航空自衛隊や米海兵隊と密接に連携し、様々な任務に対応します。

国内外訓練



水機団演習（国内）



タリスマンセイバー（国外）



新隊員特技課程



水陸両用課程

教 育

駐屯地施設等



屋内水中訓練場



水密試験場
（崎辺分屯地）



新集約倉庫
（令和8年7月完成）

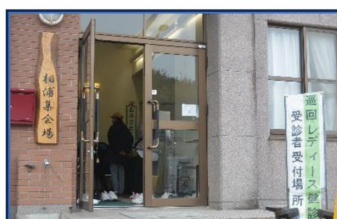


隊員食堂

福利厚生



緊急登庁支援



巡回レディース検診



イベント支援



ボランティア活動

地域との交流

駐屯地周辺等の紹介



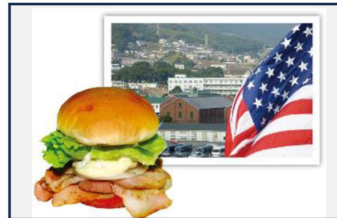
米海軍佐世保基地



九十九島



ハウステンボス



佐世保バーガー

2. 自治体紹介

長崎県 佐世保市

□ 市長あいさつ

佐世保市は九州の西北端、長崎県の北部に位置する人口約22万人の中核市で、市内に海上自衛隊佐世保地方総監部、陸上自衛隊相浦駐屯地、米海軍佐世保基地等が所在しています。



佐世保市長 宮島 大典
(みやじま だいすけ)

佐世保市は、明治22年の佐世保鎮守府開庁を契機に、海軍のまちとして急速に発展を遂げた歴史を有しており、戦後は海上自衛隊、陸上自衛隊、米海軍と緊密な信頼関係を築いてきました。

本市は、「軍港」としてのイメージをお持ちの方も多いのではないかと思います、「ハウステンボス」をはじめ、「海風の国」とも称される美しい島々や豊かな海の幸に恵まれた自然と観光の魅力あふれるまちです。また、佐世保バーガーやさせぼ自衛隊グルメなど食の面でも大きな魅力を有しております。佐世保にお越しの際は、佐世保ならではの豊かな食と美しい景色をご堪能ください。

佐世保市と基地との関わり

佐世保市民は、日常生活においては元より、様々なイベントへの参加も通して自衛隊や米海軍の隊員と交流を図っています。

また、自衛隊、米海軍と市内諸団体の親睦を深めるため、ボウリング大会を定期的に行っています。

本市は、「基地との共存共生」を市政の基本方針としており、日本一自衛隊を応援するまちとして、隊員の皆様のご家族の生活面を含め任務に専念できる環境づくりに努めるとともに、市民の安全安心な生活を確保しながら基地を活かしたまちづくりを推進していくこととしています。

海上自衛隊佐世保地方隊オータムフェスタ2025



©佐世保地方隊HP

Sasebo Fleet Friendship Day



©佐世保市

陸上自衛隊水陸機動団創団6周年・相浦駐屯地69周年記念行事



©水陸機動団HP

フレンドシップボウリング大会



©佐世保市

観光スポット

美しい海や港町の風景が魅力の佐世保では、四季折々の美しい自然が楽しめます。



画像提供：ハウステンボス

ヨーロッパの街並みを再現した場内と屋内外のアトラクションや毎日開催するショーなど見どころ満載の「ハウステンボス」



©NPTA

広大な芝生広場の丘「九十九島観光公園」からは九十九島の大パノラマを見渡すことができ、これまでにない景観を体感できます。



©NPTA

九十九島パールシーリゾート内にある「九十九島水族館海きらら」は、九十九島の美しい海の世界をぎゅっと再現した水族館です。

©ツール・ド・九州2026実行委員会



©NPTA

「SASEBO軍港クルーズ」は、造船所や米海軍基地、海上自衛隊艦艇などを間近に見ることができます。



©NPTA

九州最大の「YOSAKOIさせば祭り」今年は10月16日(金)～18日(日)の3日間、市内各地で開催されます。



「佐世保クリテリウム2026」昨年引き続き今年は10月9日(金)に開催されます。

佐世保グルメ

佐世保には、米海軍基地ゆかりのグルメ、自然の恵みがふんだんに詰まった農産海産物など魅力的なグルメがいっぱい！



©NPTA

1950年頃、米海軍基地から伝わったハンバーガーのレシピから始まり、さまざまな店のアレンジが生まれた「佐世保バーガー」



©佐世保商工会議所HP

海上自衛隊、陸上自衛隊、海上保安部のカレーを市内飲食店がレシピを元に再現し提供する「させば自衛隊グルメ」



©NPTA

佐世保は、とらふぐの養殖も盛んで「九十九島とらふぐ」は、風味と身の締まりを良くするために、早摘みみかんを加えた特別飼料で育てています。



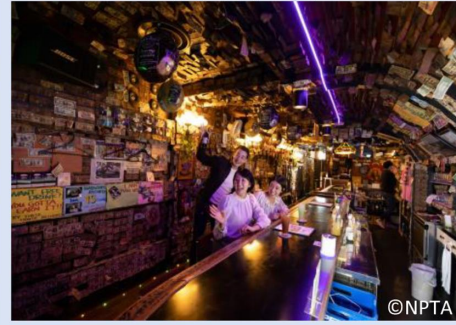
©NPTA

アツアツの鉄板で焼かれたジューシーなお肉とさっぱりレモンの効いた和風ソースがたまらない佐世保名物「レモンステーキ」



©NPTA

明治時代の海軍レシピ本「海軍割烹術参考書」をもとに各店が個性的なアレンジを加えて「海軍さんのビーフシチュー」提供しています。



©NPTA

米海軍基地が佐世保に置かれた頃にオープンした外国人向けのバー。佐世保だけでしか味わえない夜を思い切り楽しんでください。

3. 業務紹介

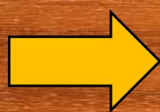
防音対策課

◆九州防衛局企画部防音対策課では九州管内の自衛隊の飛行場の運用に伴う航空機の騒音や演習場で発生する砲撃音による障害を防止又は軽減するため、学校、病院などの施設や住宅に対する防音工事の助成及び建物などの移転措置の補償を行っています。

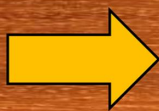
◆学校、病院などの防音工事では、一定の騒音の影響があると認められる施設に対して、防音工事を行う場合にその費用について補助しており、防音工事の内容は騒音の程度によって異なりますが、外部に面した窓を防音サッシに取り換えたり、防音機能を付した換気設備及び冷暖房設備の設置などを行います。



◆住宅防音工事は工事の対象となる区域（第一種区域）が指定された日より前に建築された住宅の所有者や住民の皆様が行う防音工事にかかる費用を補助しており、学校や病院と同様に防音サッシへの交換や空気調和機器の設置を行っています。



◆移転措置の補償については、騒音の影響が特に大きいとして防衛大臣が指定した「第二種区域」において、区域外への移転を希望される方に対し、移転費用の補償や土地の買入れを行う制度で、居宅や附属家、庭木などの移転に必要な費用の補償、区域指定時に宅地であった土地、移転により従来の目的での利用が困難となる農地等の買入れを行っています。



4. インフォメーション

もがみ型護衛艦9番艦「なとり」 10番艦「ながら」 引渡式・自衛艦旗授与式

長崎県長崎市に所在する三菱重工業株式会社長崎造船所にて、令和8年5月21日（木）に護衛艦「なとり」、令和8年6月29日（月）に護衛艦「ながら」の引渡式及び自衛艦旗授与式が行われ、初代艦長の指揮の下、毅然とした態度の乗組員と共に配備先へ向けそれぞれ出港しました。

両艦は、平成30年度から建造を開始した「もがみ型」護衛艦の9番艦・10番艦にあたり、平素からの警戒監視、有事における各種戦闘に加え、従来は掃海艦艇が担っていた機雷処理など多様な任務に対応可能な新型護衛艦で、ステルス性を考慮した船体形状や徹底した省人化は大きな特徴となっています。

両艦の建造工程における様々な監督・検査を担当してきた長崎防衛支局職員も、両艦の新たな門出を祝い、出港を見送りました。



▲防衛省代表へ引渡書を手渡す。



▲「ながら」初代艦長へ自衛艦旗を授与



▲出港する護衛艦「ながら」



▲出港する護衛艦「なとり」

令和8年度優秀工事等顕彰状授与式

九州防衛局及び熊本防衛支局では、前年度に完成した工事及び業務の中から選ばれた受注者及び技術者に優秀工事等顕彰状を授与しています。

本年度は、九州防衛局においては7月15日、選ばれた15社と技術者12名に対し、熊本防衛支局においては同月29日、選ばれた22社と技術者22名に対し、それぞれ顕彰状が授与されました。

この顕彰は、私共が発注する建設工事や設計業務等のうち、困難な条件下にもかかわらず他の模範とするにふさわしい工程管理や安全管理に優れた施工や業務を行った方に、防衛施設工事における更なる技術力の向上や受注意欲を高めることを目的として授与されるものです。

今後とも、本制度が入札参加者の受注意欲を高め、工事目的物の品質確保を図る等、円滑な施設取得の推進に資するものにしたいと思います。



▲顕彰授与式の様子



▲顕彰授与式の様子



▲優秀工事 被顕彰者一同



▲優秀業務及び優秀業務技術者 被顕彰者一同



▲優秀工事技術者 被顕彰者一同

幹部紹介 ～8月人事異動～



企画部長

企画部長
櫛田 真紀



長崎防衛支局長
熊井 邦善



熊本防衛支局長
小長 大輔

8月7日付で企画部長に着任いたしました櫛田真紀と申します。

アジアの玄関口として発展を続け、豊かな風土と温かい人情に恵まれた九州の地で勤務できますことを大変光栄に思っております。

当局は防衛行政と地域住民の皆様との調和を図るため、日々多様な業務に取り組んでおります。

これまでの経験を活かし、地域の皆様をはじめ自衛隊や在日米軍といった関係機関との強固な信頼関係を築くべく、誠心誠意尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

このたび8月1日付で長崎防衛支局長を拝命しました熊井邦善です。

当支局は、艦艇をメインとした装備品等の調達および役務に関する原価監査・検査、契約の履行に関することを担当しております。

防衛省・自衛隊の役割が増大する中、装備品等を着実に納入できるよう、これまでの経験等を活かし、関係する皆様と顔の見える関係を築き、しっかりとした体制で臨んでまいります。よろしくお願いいたします。

8月7日付で熊本防衛支局長に着任しました小長大輔です。

管内の皆様には、日頃から防衛行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、現在、進めております防衛施設の強靱化事業に職員一丸となって取り組むと共に、地元関係者の皆様、地域の皆様、建設業界をはじめとする関係事業者の皆様との信頼関係を大切にしながら、丁寧かつ誠実な業務運営に努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

九州防衛局ホームページ・Xのご案内

九州防衛局では、皆様へお知らせしたい情報を随時発信しています。広報誌「きゅうしゅう」のバックナンバーもご覧いただけます。



防衛省HP



九州防衛局HP



九州防衛局公式X

在日米軍従業員募集

USFJ EMPLOYMENT GUIDE

在日米軍従業員 募集案内

あなたの得意が、 仕事になる。

今までの経験やスキルを活かせる、
多岐にわたる職種と、それぞれの活躍。



【X (旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名
「独立行政法人駐留軍等労働者
労務管理機構 (エルモ)
@LMO_recruit」



求人情報提供 メールサービス

求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。



エルモでは、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。

【窓口応募受付・お問い合わせ先】

駐留軍等労働者労務管理機構 (エルモ) 佐世保支部 管理課管理係

住所：長崎県佐世保市平瀬町3-1

電話：0956-23-7191

エルモHP

<https://www.lmo.go.jp>



九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092) 483-8832 (自動音声による案内)

平日は17時15分から翌朝8時30分まで
休日は終日